

令和元年度産業イノベーション創出支援事業 採択案件が決定しました！

公益社団法人いわき産学官ネットワーク協会では、産学官連携等による事業化の実例・成功例を創出し、地域経済の更なる発展と地域産業の振興を目的とした各種事業を実施しております。

本事業はその一環として、市内の事業者や高等教育機関が開発する新たな商品やサービス、技術等についてそれまでのモノや仕組みに対し、新しい発想や技術を取り入れることで、新たな価値の創造、社会や暮らしへのよりよい変化をもたらし、新産業の創出、地域産業の活性化に貢献することが見込まれる取組みを公募し、委託による資金補助や産学官連携コーディネータによる進捗管理など、事業化に向けた総合的な支援を行っております。この度、次の件が採択されましたので、お知らせいたします。

◆令和元年度採択案件一覧【採択件数：10件】

※記載は実施者名の五十音順です。

	実施者	事業名	事業概要
1	あかい菜園株式会社	AIを活用したいわき産トマトの高付加価値化と安定した利益確保への取り組み	トマトの生産に貢献するAI技術を開発する。現在のトマト生産において「トマトの品質評価（選果）」と「出荷計画立案のための収穫量予測」は熟練者のノウハウに頼っており、業務負荷の集中と技能伝承に課題がある。本事業では、熟練者の知見を取り入れたAIによって、専門業務を多くの作業者が行えるようにすることで、いわき産トマトの品質と生産性の向上による高付加価値化、安定した利益の確保に寄与することを目指す。
2	エコエネルギーシステムズ株式会社	IoT技術をベースとしたスマート農業による葉物野菜の高品質化検証	農作物（主に葉物野菜）の機能性成分を高める環境制御システムの研究開発を実施する。この研究成果を栽培時の環境制御や蓄積した農業気象計測データと組み合わせることによって農作物の収穫予測を行い、これらにもとづく栽培生産情報を生産者と実需者が共有することで、高品質野菜の生産および計画的な出荷販売調整を支援する農業生産販売支援プラットフォームに活用し、当プラットフォームの実用化を進めるための実証試験を行う。
3	株式会社クレハ	リチウムイオン二次電池用高容量負極材の開発	近年、各社で電気自動車（EV）の開発が活発に行われ、その中でリチウムイオン電池（LiB）の高容量化が求められている。当社でも、これまでに自社炭素材料の負極材用途の研究を行ってきた。その過程で、LiBに求められる高容量化を達成できる手法を見出した。今年度は、この手法により負極材を作製・評価を行うことで、高容量化のコンセプトを実証する。
4	有限会社品川通信計装サービス	神札（おふだ）書きロボットの設計製作（モーションキャプチャー部）	神札を書く人員を常時確保することが難しい神社が増えており自動化の需要が発生している。達筆な人の運筆をモーションキャプチャーでデータ化し、それに基づいた筆の動きを再現可能な多軸ロボットで動作するシステムを開発する。前年度に多軸ロボットを完成しているため、モーションキャプチャーの実験・開発を行い、多軸ロボットと連携させ実用化を目指す。地元神社へ試験導入を行い、意見を反映させ全国への拡販の基礎を作る。
5	株式会社シンテック	当社医療機器であるベロシンクケーブルに利便性及び汎用性を付与し事業化を実現する。	平成27年に医療機器として承認を受けた体内固定ケーブル（販売名：ベロシンクケーブル）は中空構造を有しており使用時の低侵襲性を特徴としているが、製造販売承認申請時の申請内容（使用目的、形状・構造、原材料等）が限定的なものであった。今回承認申請内容を追加し、更にケーブル先端に貫通機能を付与した改良ケーブルを開発することで当社ケーブルの特徴を広く医療業界に認知させ、販売を実現する事業を連携者と展開する。
6	特定営利活動法人TATAKIAGE Japan	社会人インターンシップを通じた、産業創出機運醸成事業	いわき市内の中小企業の経営課題の解決を図るためプロフェッショナル人材を首都圏から公募し、個社の経営課題解決のプロジェクトの創出しながら、地域課題を発見するフィールドワークに参加してもらう。その後、成果報告会を開催し、有識者が実現に向けたサポートを行う過程を経て、いわきに愛着を持ってもらい、将来的にいわきでの起業につなげる。
7	東北ネヂ製造株式会社	風力発電設備支持物用太径ボルトの締結メカニズムの解析で耐力・安全性の向上	前年度までは、風力発電設備支持物向けの高強度、高じん性ボルト・ナットを開発した。その中で、風力発電設備建設工事の際ボルト締付の管理によって構造物の安全性や品質に与える影響が大きいことがわかった。今年度は、(1)風力発電設備支持物ボルトの締結メカニズムを研究し安全性の向上。(2)風力発電設備支持物ボルト締付、点検作業の事業化の基礎データ取得。(3)基礎データを得ることで品質保証体制の強化。上記3点を目的とする。なお、本事業は東北ネヂ製造株式会社、高等教育研究機関である国立法人茨城大学との産学連携体制を基にしたオープンイノベーションである。
8	トラスト企画株式会社	廃棄貝殻でつくる「天然抗菌素材」の多用途開発	水産加工工場等で廃棄されている貝殻（ハマグリ、ホッキ、シジミ等）を独自の方法で特殊焼成する事で製造可能な天然由来の抗菌素材。その素材の持つ性能（抗菌、消臭、防臭、酸化防止等）を活かし、工業分野商品、食品の鮮度保持によるフードロスの削減、医療・福祉等に向けた多目的用途開発を実施する。
9	ボックス情報システム株式会社	AI顔認証を用いた保育施設向け園児別オリジナルフォトアルバム提供システムの構築	「撮って・選んで・さあ〜できた！」子どもが初めて家庭外で触れる社会である幼稚園・保育園生活で撮られた写真は、入園式から、遠足、運動会等の各種イベント、卒園式まで膨大な数である。その中からAI顔認証システムを活用し、自動で個々の子どもを特定して保護者に提供し、気に入った写真を選んでもらう。その後、園での生活記録が個々の子どもを主人公としたオリジナルのフォトアルバムになって自宅に届くシステムを構築する。
10	マイナージアパン株式会社	設備の生産性向上を目的とした動力源（モーター、バッテリー）状態監視機器の技術開発	生産設備の生産性向上を目的としたバッテリーの劣化のモニタリングと見える化の一環として、主動力源であるモーターやバッテリーの温度センシング機器とその外部モニタリングシステムの試作開発を行う。併せて、自社独自の状態異常解析ソフトを制作し、部品温度により設備状態の把握を可能とすることで、設備不具合の早期発見、復旧時間の短縮はもとより、定期メンテナンス計画の最適化や寿命予知等、総合的な生産性の向上を図る。

※委託費は、10件合計で約2,620万円(税込)です。